

令和 6 年度事業報告について

文化庁連携プラットフォームにおける令和 6 年度事業報告について、別紙のとおりとする。

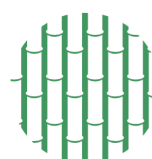
京都西山竹あかり～幻想夜2024～ 事業報告



【Ⅰ】 事業内容

【Ⅱ】 事業結果整理

【Ⅲ】 成果と課題



京都西山竹あかり
～ 幻想夜2024 ～
supported by CHIKAKEN



1

【Ⅰ】 事業内容

- 竹あかりの制作
 - ・ 地域等からボランティアスタッフを募集し、竹への穴あけ作業などを実施。
 - ・ 京都西山竹あかりは、単なる誘客イベントとして開催するのではなく、多くの人に竹あかりの制作過程に参加していただくことで、地域の長年の課題となっている放置竹林の問題を知ってもらい、解決に向けて一緒に取り組んでいただくことで、環境保全と地域活性化に繋がることを目指している。

○ 制作の概要

制作日程：令和6年9月21日(土)～23日(月・祝)、
28日(土)～29日(日)

会 場：中村竹研(京都市西京区大原野小塩町)

参 加 費：無料

対 象：小学生以上

参加人数：のべ150人以上

※ 会場近隣の宿泊施設からの無料送迎を実施

※ ボランティアスタッフとして竹あかりの制作に携わってくださった方に対し、善峯寺及び楊谷寺での竹あかり開催期間中の拝観フリーパスを提供



制作の様子



2

【I】事業内容

○ 善峯寺におけるライトアップの実施

・ 現地へのアクセス

JR桂川駅・阪急洛西口駅と善峯寺を結ぶタクシー送迎プランを造成
ホテル京都エミナースにおいて、送迎付き宿泊プランを販売
(宿泊客が当日参加できるように柔軟に対応)

・ ツアー参加者限定の貸切日を設定

京都の寺院を貸し切るという優越感や特別感を感じていただける、
高付加価値化されたツアーを造成



○ 概要

開催日時: 令和6年10月5日(土)～9日(水)、

12日(土)～14日(月・祝)

午後6時～8時30分(午後8時受付終了)

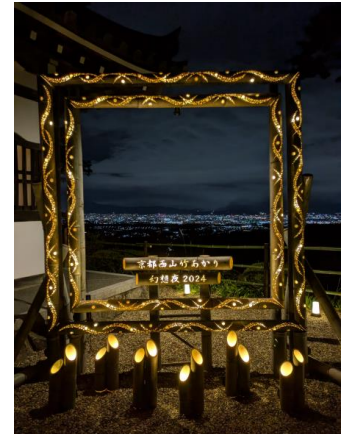
※10月4日(金)は報道関係者向けの内覧会

10月5日(土)はツアー参加者の貸切日

会 場: 善峯寺(京都市西京区大原野小塩町1372)

内 容: 境内への竹あかり設置、遊龍の松(天然記念物)及び
多宝塔(重要文化財)のライトアップ、多宝塔供養会、
多宝塔信仰に関する法話、多宝塔改修工事に関する
講和、「遊龍松」剪定担当者による説明会、片岡鶴太郎氏
作の 鯉の襷絵の特別公開、琴の生演奏

拝 観 料 : 大人1,000円、高校生600円、小中学生400円



【I】事業内容

○ 大歳神社におけるライトアップの実施

・ 栢(かや)の実から搾った油で御神灯を点灯

大歳神社は紀貫之の歌で「かへ(栢)の杜」と詠まれるほど栢との縁が深い神社であったが、戦後、杉や
桧が植樹された影響で、栢は姿を消しつつあった。
近年、地元住民により大歳神社に栢を復活させる取
組が始まり、竹あかりのライトアップに合わせて、約
1,000年ぶりに栢の実から搾った油で御神灯を点
灯し、往時の明かりを再現する。



○ 概要

開催日時: 令和6年10月19日(土)～20日(日)

午後6時～8時30分

会 場: 大歳神社(京都市西京区大原野灰方町
575)

内 容: 境内への竹あかり設置

栢の実から搾った油で御神灯を点灯

琴の生演奏

金剛流能奉納

拝 観 料 : 無料



【I】事業内容

- 柳谷観音楊谷寺におけるライトアップの実施
 - ・「まるっと京都」ツアーの造成

京都府及び京都市の連携事業として実施している、京都観光の定番を外した、様々な魅力ある観光地を組み合わせた「まるっと京都」ツアーの一環として、柳谷観音楊谷寺、光明寺を含むツアーを造成

○ 概要

開催日時：令和6年11月9日(土：プレオープン)、
16日(土)、17日(日)、22日(金)、
23日(土・祝)、24日(日)、29日(金)、
30日(土)
午後5時～6時30分

会場：柳谷観音楊谷寺

(京都府長岡京市浄土谷堂の谷2)

内容：境内への竹あかり設置、浄土園(京都府指定庭園)のライトアップ、上書院の特別公開、鬼瓦制作工房代表による講演

拝観料：大人2,000円、高校生以下無料



善峯寺、大歳神社及び柳谷観音楊谷寺は愛犬と一緒に参拝可能

【I】事業内容

- 光明寺における竹オブジェの設置
 - ・紅葉の特別入山期間中に観音堂内及び信楽庭、大書院前庭園、紅葉の参道に竹のオブジェを設置

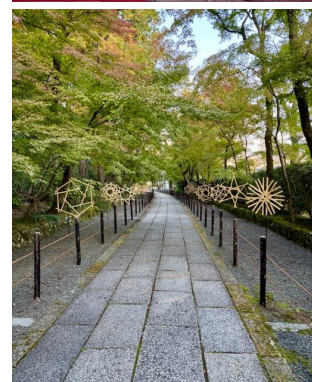
○ 概要

開催日時：令和6年11月16日(土)～12月8日(日)
午前9時～午後4時(日中開催のみ)

会場：光明寺(京都府長岡京市粟生西条ノ内26-1)

内容：境内への竹オブジェ設置

拝観料：大人1,000円、中高生500円



【Ⅱ】事業結果整理

【マスコミ関係】マスコミによる報道



NHK京都 令和6年10月8日



京都新聞 令和6年10月5日



産経新聞 令和6年10月11日

7

【Ⅱ】事業結果整理

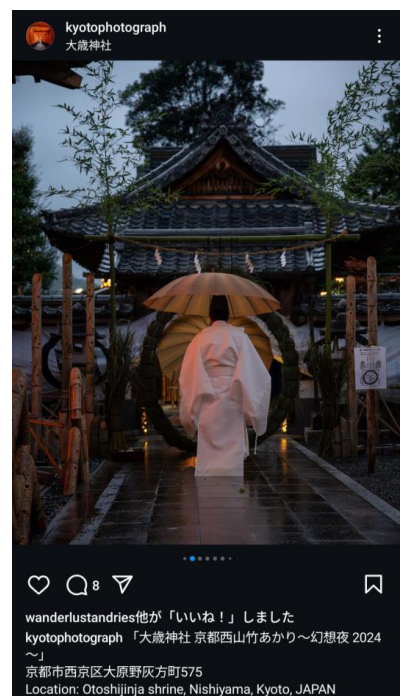
【インフルエンサー】Instagram フォロワー数10万人超えのインフルエンサーによる発信



s_ken.ken氏



tomokotoamu氏



コウノスケ氏

8

【Ⅲ】成果と課題

○ 事業決算

予算	決算
5,311千円(うち文化庁補助金3,540千円)	5,290千円(うち文化庁補助金3,527千円(予定))

○ 事業成果

分類	定性的成果	定量的成果
竹あかり ・来場者の声・満足度 (感動した点、改善点) ボランティアの参加状況、感想 (やりがい、地域とのつながり)	<来場者の声> ・竹あかりのクオリティが想像よりはるかに素晴らしかった。 ・お寺の景観と竹あかりの調和が素晴らしかった。 ・交通アクセスが課題(シャトルバスや低額な送迎サービスがあるとさらに良かった。) <ボランティアの声> ・自分たちが作った作品が想像以上に美しくて驚いた。また、その作品を見に来られた方が感動されている場面を見て、ボランティアに参加して良かったと感じた。	<来場者数> ・3寺社合計で2,299名 (善峯寺1,084名、大蔵神社400名、楊谷寺815名) <ボランティア応募者数(定員15名、10回)> ・延べ136名応募あり
竹あかり ・会場となった寺社の声・満足度	・デザイン、境内の雰囲気、来場者の反応、満足度は非常に高かったと感じられた。 <寺社関係者(家族、従業員、檀家等の声)> ・当初は夜間拝観による負担の増加を懸念されていたが、開催後には喜びの声を頂戴することができた。	<参加者満足度調査の結果>(善峯寺 n=106) ・京都西山竹あかりを見て、放置竹林問題に関心を持った人(5段階評価で5,4を付けた人)が87人/106人(82.0%) ・旅行代理店が作成したツアーへの参加者数は254名(7本)
メディアの評価、PR実績	<メディアの評価、PR実績> ・京都西山竹あかり事業が、地域の課題でもある放置竹林の竹の魅力を引き出していることや、地域の活性化及び観光振興に寄与していること、特に夜間の新たな観光スポットとしての可能性について言及されることが多く、オーバーツーリズム対策にも繋がるとの論調がみられた。	<主要メディア報道実績> ・TV2社、CATV2社、新聞2社(4記事)、Yahoo!ニュース4記事 <PR実績> ・インフルエンサー10名程度(総フォロワー数100万人以上)による複数回投稿

○ 課題

課題	対応案
竹あかりの会場において、竹あかりを開催するに至った背景を説明する案内があれば、来場者にとって一層理解が深まるのではないかと指摘があった。	竹あかり会場の設えをブラッシュアップするなど、文化財の本質的な価値や竹のストーリーを伝える仕掛けづくりを構築する。また、会場での説明について、例えば要所にスタッフを配置するなど、来場者の理解が深まるような取組も検討する。
報道発表から事業開始までの期間が1箇月もなく、十分な事前周知を行えなかったため、即時性のあるSNSを中心としたPRに注力することになった。	旅行代理店等を通じた広域でのPR活動に加え、ホテル等とも連携し、インバウンド客向けのPR強化を検討する。

令和6年度 文化庁連携プラットフォーム 食文化プロジェクト 開催結果について

＜おこしやす芸術祭＞ 主催：文化庁 共催：京都府、京都市

- ・ 日時：令和6年10月1日（火）11:30～16:00
- ・ 会場：ロームスクエア（ロームシアター京都屋外広場）

文化庁主催事業「文化庁芸術祭」オープニング公演が、京都で初開催されることを記念し開催された事業。日本茶、和菓子、日本酒、京漬物のブース出展及び食文化を紹介するパネルを展示。

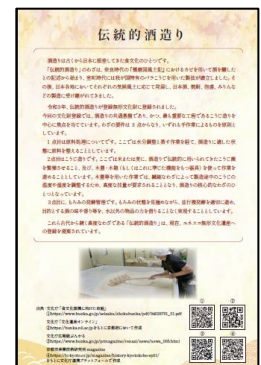
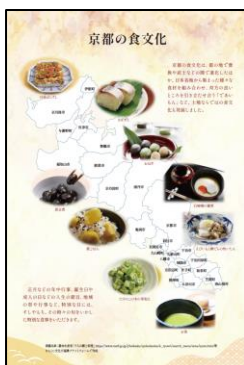
観光客や芸術祭参加者等が会場に訪れ、登録無形文化財、日本遺産等に関する食文化の紹介を実施。文化庁からは100年フードや「伝統的酒造り」、日本遺産に係る取組の紹介がなされた。



＜京都フードテックエキスポ2024＞ 主催：京都スマートシティエキスポ運営協議会

- ・ 日時：令和6年10月3日（木）、4日（木）10:00～17:00
- ・ 会場：けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）

京都の食文化、京野菜に代表される食材、食に関連する最先端技術の融合を目指す展示会。京都の食文化の魅力を発信するパネル展示及び事業紹介を実施した。



令和6年度 文化庁連携プラットフォーム 生活文化プロジェクト 開催報告について

○一般財団法人今日庵との連携事業「新入社員対象・茶道体験」の実施【京都商工会議所】

京都で働く新入社員や若手社員に、京都の文化である茶道に関する心得やマナーの習得だけでなく、心の豊かさを養うことを目的に実施した。

日 時：令和6年5月13日15時～17時

場 所：裏千家センター

参加者数：39名

○「文化の発信を考える研究委員会」での文化事業の実施【一般社団法人京都経済同友会】

文化と産業の交流拠点（仮称）にて、施設内の見学と建築家・岸和郎氏による説明や文化発信に関するグループディスカッションを実施、京都の文化について考える機会を創出した。

実 施 日：令和6年7月23日14時～16時30分

ディスカッションテーマ：「これからの京都が担う“文化の発信”はどうあるべきか」

参加人数：24名

○京都・観光文化検定試験「特別講演会」の実施【京都商工会議所】

文化と産業の交流拠点（仮称）で、「源氏物語」「紫式部」をテーマにした講演会を実施。あわせて、同施設展示の鉄斎作品のレプリカおよび施設見学、職員による説明を行った。

日 時：令和6年8月3日14時30分～16時

参加者数：33名

講 演 名：「匂いと香りの日本文化～『源氏物語』に寄せて～」

講 師：濱崎 加奈子氏（公益財団法人有斐斎弘道館 館長）

○小中学生対象を対象にした英語で話す「多様性」に関するワークショップの実施【京都商工会議所】

文化と産業の交流拠点（仮称）でイギリス出身の講師による英語でのSDGsに関するワークショップを開催。参加者は同施設の見学も行い、畳などの和文化を体験する機会を創出した。

日 時：令和6年8月9日11時～12時

参加者数：10名

タイトル：「英語で話そう！多様性ってどういうこと？」

講 師：Caitlin Puzzar 氏（株式会社Guardian 代表取締役）

○若手芸術家支援事業の実施【京都商工会議所】

次代を担う美術若手作家を支援するため、「京都 日本画新展」受賞4作品を本所内で展示し、発表機会の創出と購入希望者のマッチングを実施。

展示期間：令和6年9月30日～令和7年3月末日

○京津奈広域観光連携プラン「旧富岡鉄斎邸での茶香服体験」の実施【京都商工会議所】

京都・大津・奈良3商工会議所連携事業として、文化と産業の交流拠点（仮称）で日本茶の飲み当てイベントを実施。日本の風流な遊び体験と京都のお茶を知ってもらう機会を創出した。

実 施 日：令和6年11月6日、令和7年1月18日、2月7日、3月15日（予定）

参加人数：35名

○「旧富岡鉄斎邸での茶香服体験」の実施【京都経済団体協議会】

京都企業に勤める方々を対象に文化と産業の交流拠点（仮称）で日本茶の飲み当てイベントを実施。日本の風流な遊び体験と京都のお茶を知ってもらう機会を創出した。

実 施 日：令和6年11月7日、令和7年1月17日、2月8日

参加人数：のべ53名

○一般財団法人今日庵との連携事業「人事・福利厚生担当者対象・茶道体験」の実施【京都商工会議所】
京都の文化の知識を習得する機会としての社員研修や福利厚生で、茶道体験の導入を予定している企業の担当者に対しての体験機会を創出した。

日 時：令和6年11月26日15時～17時

場 所：裏千家センター

参加者数：15名

○第25回京都・観光文化検定試験「3級親子受験割引制度」の実施【京都商工会議所】

次世代を担う小学生に京都の文化や歴史に関心をもってもらうことを目的に、令和6年12月8日施行の同検定の小学生の受験料を無料、保護者の受験料を割引する制度として実施した。

本制度の受験者数54名（小学生27名＋保護者27名）※小学生の受験者対前年比＋35.7%

○「モノづくり支援団体連絡会議」での文化事業の実施【公益社団法人京都工業会】

文化と産業の交流拠点（仮称）にて、関西5府県の製造企業支援団体メンバーを対象に松栄堂社長による講演と聞香を実施、京都の文化に触れる機会を創出した。

実 施 日：令和7年2月20日15時～17時

講 師：畑 正高氏（株式会社松栄堂 代表取締役社長）

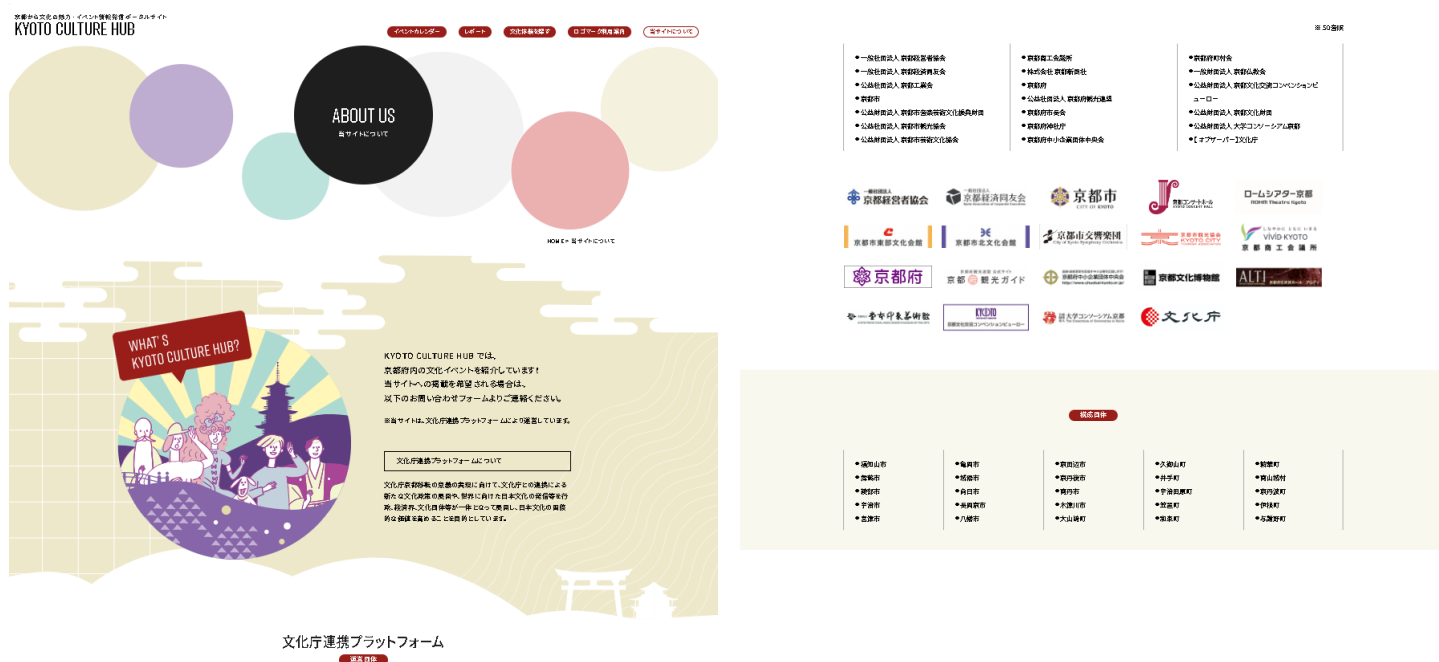
参加人数：10名

以上

広報発信等について

＜京都から文化の魅力・イベント情報発信ポータルサイト「KYOTO CULTURE HUB」＞

- ・ 府内各地の文化情報を府内外に発信し、人々がイベント等に足を運ぶきっかけを作り、京都から文化の魅力を伝える総合ポータルサイト（令和5年8月開設）
- ・ 令和5年度（8月～3月）実績：218件のイベント等の情報を発信、アクセス数 38,479人
- ・ 令和6年度（4月～1月）実績：198件のイベント等の情報を発信、アクセス数 21,670人（R7.3.7時点）



＜デジタルサイネージ＞

- ・ 文化庁連携プラットフォーム関係団体所在施設や市町村などに設置（府内34箇所）
設置場所：京都府庁、府内26市町村、京都経済センター、京都コンサートホール、京都芸術センター、京都文化博物館、京都総合観光案内所「京なび」、京都新聞社、京都府東京事務所
- ・ 府内各地の文化情報を一体的に発信し、京都から文化の魅力を伝える配信ツール
 - ・ 令和5年度実績（7月～3月）：160事業を配信
 - ・ 令和6年度実績（8月～12月）：140事業を配信

＜文化庁との意見交換の実施＞

- ・ 地域文化を活かした地方創生の実現に向けた事業の連携・協力を進めるため、予算概要や事業実施予定等における情報共有等の意見交換により、双方のニーズ把握や新たな施策立案を情報交換できる関係を文化庁と構築。